



ケンパー・プロファイラー

Quick Start 7.0

免責事項、商標について

本マニュアルおよび本マニュアルに記載のソフトウェアおよびハードウェアは、使用許諾契約に基づいて使用されるものであり、使用および複製は当該使用許諾契約の条項に準じます。また本マニュアルの内容は、本機の機能を説明するためにのみ記載されるものであり、予告なく変更されることがあるとともに、本マニュアルの内容は Kemper 社 (Kemper GmbH) が確約したものとは解釈されません。

Kemper 社 (Kemper GmbH) は、本書の誤記等に関し一切の責務を負いません。また本書の使用許諾契約で許可される範囲以外の内容に関する複製および検索システムへの登録、または電子的手段、機械的手段、録音および録画、撮影、狼煙、その他いかなる手段における送信も、Kemper 社 (Kemper GmbH) の書面による事前許諾がない場合、これを行うことはできません。

KEMPER™, PROFILER™, PROFILING™, PROFILE™, PROFILER PowerHead™, PROFILER PowerRack™, PROFILER Remote™, KEMPER Kone™, KEMPER Cabinet™, KEMPER Rig Exchange™, KEMPER Rig Manager™, PURE CABINET™, CabDriver™ は Kemper 社 (Kemper GmbH) の商標です。また本機の外観および仕様は、予告なく変更されることがあります。(2019)

© Copyright 2019 Kemper GmbH. All rights reserved.

www.kemper-amps.com

目次

免責事項、商標について	2
目次	3
あなたが手に入れたのは！	5
それでは始めましょう！	6
機器を接続する	6
リグを選択する	8
リグをエディットして保存する	10
ノイズ・ゲート	11
エフェクトをアサインする	12
リモートでエフェクトのオン／オフを切り替える	13
チューナー	13
ボリューム・ペダル	14
ワウ・ペダル	14
モーフ・ペダル	14
さらにペダルを使いこなす	16
ロック機能	17
内蔵パワーアンプでギターキャビネットをドライブする	17
リグ・マネージャーでプロファイラーを常に最新の状態にする	20
その他のマニュアルおよびチュートリアル・ビデオ	24
サポートおよびユーザー・フォーラム	25

Quick Start

あなたが手に入れたのは！

ケンパー・プロファイラー（以下：プロファイラー）をお求めいただき誠にありがとうございます！プロファイラーは、使い込んでいただくほどさらに膨らむあなたの期待にもお応えすることができると確信しています。我々は、既存のデジタル・アンプを遥かに越える領域にあなたをお連れしたいという一心でプロファイラーを開発してきました。その中で生まれたのが、「あなたのギター・アンプをプロファイリングする」というケンパー独自の技術です。もちろん他のギタリストのアンプのプロファイルを読み込むことも可能です。しかもそれらは単なるシミュレーションではなく、そのギターアンプが生み出すサウンドそのものをデジタル化したものといっても過言ではないでしょう。

それでは始めましょう！

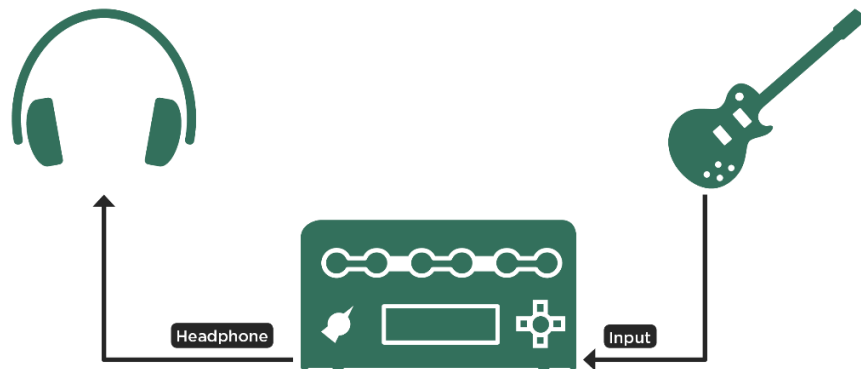
このクイック・スタートは、プロファイラーを使用するための最初の第一歩に必要な内容を網羅しています。ギターや周辺機器の接続、チューニングや音色の選択とエディット、エフェクトの配置やペダルによるコントロールなどの基本操作をカバーしています。

プロファイラーはベースでも使用することができ、既に数多くのベーシストが導入しています。ベーシストの方は、是非マスター・マニュアルの「ベーシストのための機能とヒント」の章も併せてご参照ください。ベースで使用していただくための情報がまとめられています。マスター・マニュアルはケンパーのウェブサイトから PDF をダウンロードすることができます：www.kemper-amps.com/start

機器を接続する

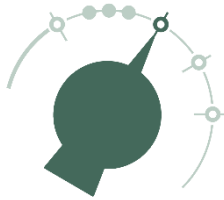
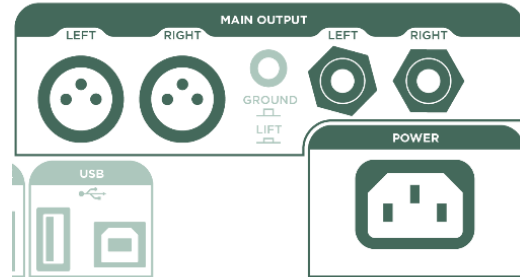
ギターをフロント・パネルの **INPUT** に接続してください。

ヘッドフォンを使用する場合は、同じくフロントパネルの **HEADPHONE** ジャックに接続します。



ミキサーやパソコン用のオーディオ I/F、パワードモニターを使用する場合は、プロファイラーのリアパネルにある **MAIN OUTPUT** (XLR または TS ジャック) を、ミキサーやオーディオ I/F のインプットに接続してください。

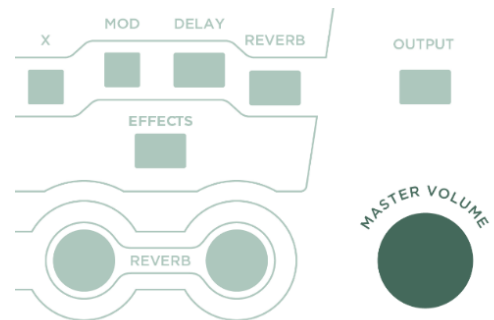
もちろん電源ケーブルをコンセントにつなぐのも忘れないでください。コンセントから供給される電圧には、プロファイラーが自動的に適合するよう設計されています。

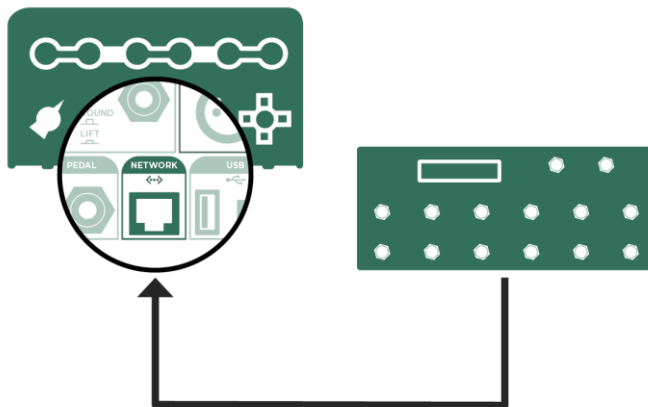


チキンヘッド・ノブを **BROWSER** の位置に動かして電源を入れましょう。起動プロセスが終わると、ブラウザー・モードのホーム画面が表示されます。

ギターを弾きましょう！

フロント・パネル右上にある **MASTER VOLUME** ノブを回すことで音量が調整できます。





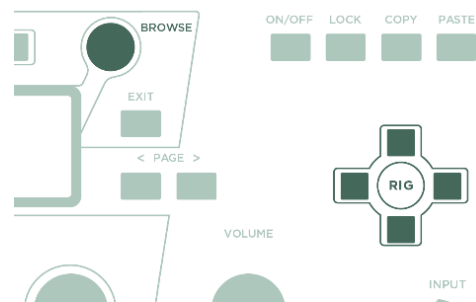
プロファイラー・リモート（以下：リモート）をご使用の場合は、付属のイーサネット・ケーブルを使って、本体リアパネルの **NETWORK** 端子に接続してください。

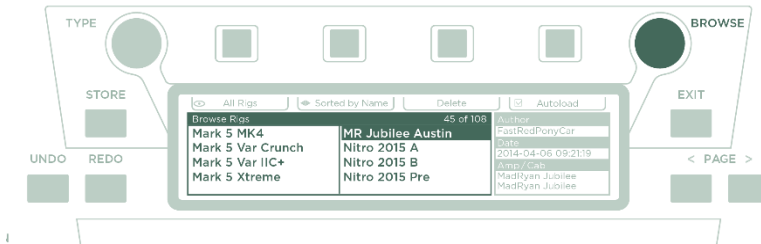
リグを選択する

プロファイラーには、様々なギターアンプのプロファイルと内蔵エフェクトを組み合わせたセットがメモリーされています。プロファイラーでは、これら一つ一つをリグ、そしてリグがメモリーされているエリアをリグ・プールと呼びます。

INPUT ジャックの側に十字に配置された4つのボタンをリグ・ナビゲーター・ボタンと呼び、リグ・プール内のリグの選択に使用します。

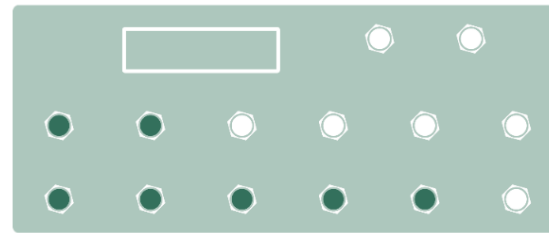
十字の右のボタンを押すと、リグ名のアルファベット順（工場出荷時設定）に並んでいるリグが順に切り替わります。左ボタンを押すと逆方向に切り替わります。上下のボタンは次の頭文字までジャンプします。





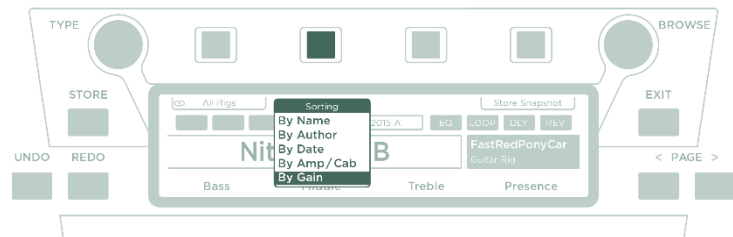
BROWSE ノブでリグを切り替えることも可能です。ノブを回すと同時にリグを一覧できるウィンドウが開き、さらに回すとハイライト部分が移動します。移動を止めて暫く待つと、ハイライトしたリグが自動的に読み込まれ、ホーム画面に戻ります。

専用コントローラーのプロファイラー・リモート（以下：リモート）のリグボタン 1～5 及びアップ／ダウン・ボタンを使ってリグを選ぶことも可能です。

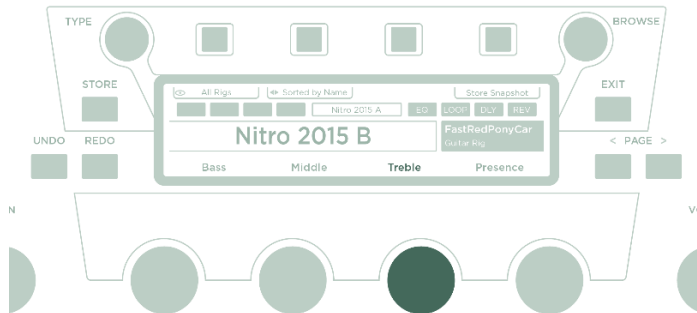


工場出荷時の設定では、メモリーされているリグが名前前のアルファベット順に並んでいます。例えば歪んだ音あるいはクリーンな音という観点でリグを探したい場合は、ゲインの高さ順（**By Gain**）に並べ替えることも可能です。

LCD 上のソフトボタン 2 「Sort Order」を押してプルダウン・メニューを開くと、異なるリグの並べ方を選択することができます。

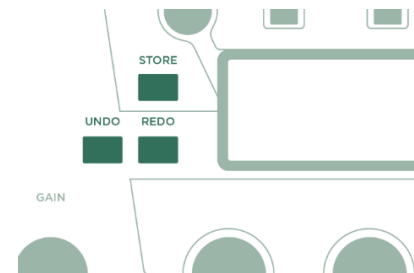


リグをエディットして保存する



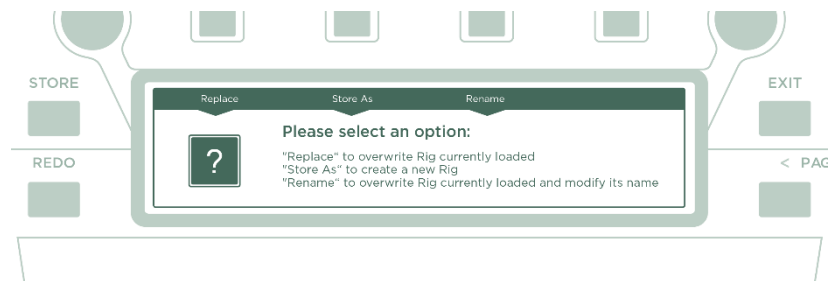
読み込んだリグの内容をエディットし、別のリグとして保存することができます。例えばトレブルを押さえたい場合は、ホーム画面でソフト・ノブ3を左に回します。

UNDO ボタンを押すことで直前に変更した内容を取り消すことができます。REDO を押すと、UNDO で取り消した内容を再び有効にすることも可能です。

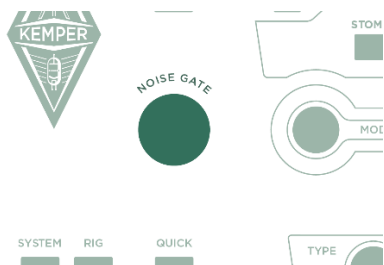


エディットしたリグを保存する場合は **STORE** ボタンを押し、次に表示される以下の保存方法の中から目的にあったものを選びます：

- 元になったリグをエディット後の内容に置き換える (**Replace**)
- エディット後の内容を新しいリグとして保存し、元のリグはオリジナルのまま残す (**Store As**)
- 元のリグをエディット後の内容に置き換え、名前も変更する (**Rename**)



ノイズ・ゲート



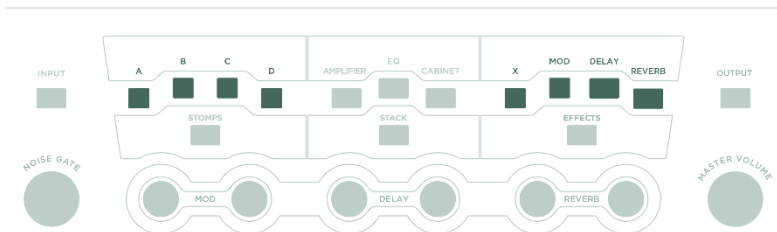
入力段に配置されたノイズ・ゲートの効き具合を、**NOISE GATE** ノブで調整しましょう。

ギターのボリュームを最大にし、手のひらで全ての弦をミュートします。
NOISE GATE ノブを少しづつ右に回し、ハムやノイズが消える位置にセットします。大抵の場合4～6くらいの値になるでしょう。



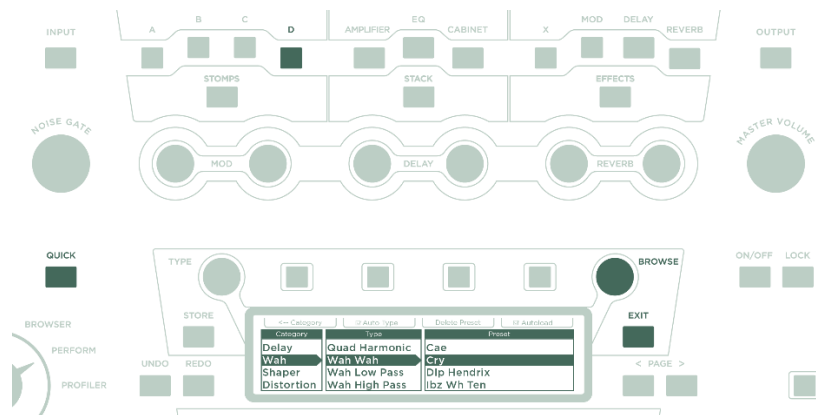
特にゲインが高いメタル系のサウンドの場合は、エフェクトの中にあるノイズ・ゲートを使用することをお勧めします。
詳しくはマスターマニュアルの中でご説明しています。ケンパーのウェブサイトにはノイズ・ゲートについてのチュートリアル・ビデオもありますのでご参照ください：www.kemper-amps.com/video

エフェクトをアサインする



プロファイラーは8つのエフェクト・モジュールを装備しています。シグナル・フローにおいて、その内の4つ（A, B, C, D）はアンプ・モジュールの手前、他の4つ（X, MOD, DLY, REV）はアンプ・モジュールの後ろに配置されています。

QUICK ボタンを押し、続いてエフェクト・モジュール、例えば D を押すとそのモジュールにフォーカした画面に切り替わります。この状態で BROWSE ノブを回すとエフェクトのプリセットを選ぶことができます。

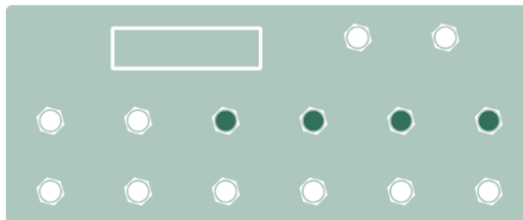


プリセットを選んで数秒待つとエフェクト・パラメータの画面に切り替わります。再度 QUICK ボタンを押すとブラウザー・モードのホーム画面に戻ります。

エフェクト・モジュールのボタンを押すことで、アサインしたエフェクトのオン/オフを切り替えることができます。

エディットしたリグのストアを忘れないように！

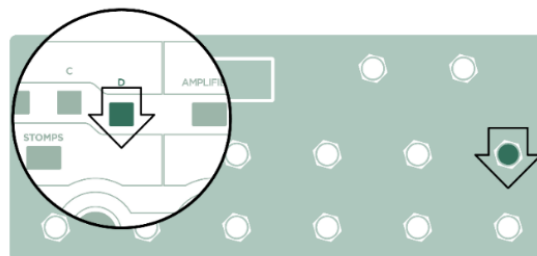
リモートでエフェクトのオン／オフを切り替える



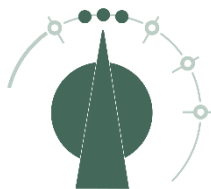
リモートには、エフェクト・モジュールのオン／オフを個別に切り替えるためのボタン：エフェクト・ボタンⅠ～Ⅳが用意されています。それぞれのボタンには複数のモジュールのオン／オフをアサインすることも可能です。

リモートのエフェクト・ボタンを踏みながら、プロファイラー側のモジュール・ボタンを押すと、そのモジュールのオン／オフをアサインすることができます。

エフェクト・スイッチのアサイン設定はリグごとにメモリーされます。つまり設定後はリグのストアを行う必要があるということが、もうお判りでしょう。



チューナー



プロファイラー本体のフロントパネルならびにリモートに装備された3つのLED（TUNER）は、接続されたギターの状態を常に表示しています。

本体のチキンヘッド・ノブをTUNERの位置にするか、リモートのTUNERボタンを踏むとチューナー・モードになります。チューナー画面でソフト・ボタン「Mute Signal」にチェックを入れておくと、チューナー・モードの時に出力をミュートすることができます。

ボリューム・ペダル

プロファイラーのペダル機能には、デジタル機器のコントロール用に設計された、いわゆるエクスプレッション・ペダルを使用します。

本体リアパネルの **PEDAL 1** ジャック、またはリモートの **PEDAL 3** ジャックにエクスプレッション・ペダルを接続すると、そのペダルがボリューム・ペダルになります。

このボリューム・ペダルの配置、例えばアンプの手前なのか後ろなのかという選択は、リグごとに設定しておくことができます。詳しくは、マスター・マニュアルの「ボリューム・ペダル」の章をご参照ください。

また、このボリューム・ペダルをヒール・ポジションにしてボリュームを絞りきると、自動的にチューナー・モードに切り替わります。この機能はチューナー画面のソフトボタンで解除しておくことも可能です。

ワウ・ペダル

エクスプレッション・ペダルを本体リアパネルの **PEDAL 2**、またはリモートの **PEDAL 4** に接続すると、ワウやペダル・ピッチ、モーフィングなどのエフェクトをコントロールすることができます。

リグにワウ・エフェクトを追加してみましょう。[エフェクトをアサインする](#) の項でご説明した手順で、エフェクト・モジュール **B** にフォーカスしてください。**BROWSE** ノブを回して **WHA** のプリセットを選択し、ペダルを動かすとワウ・エフェクトが使えます。

モーフ・ペダル

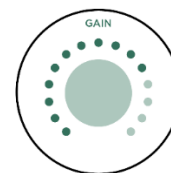
モーフィングは、ゲインやディレイ・ミックス、フィードバックなどの連続可変パラメータを、いくつでも同時に動かすことができる機能です。ペダルを使えば、それら全てを一つのペダルで同時にコントロールことができ、基本となるサウンドとモーフ・サウンドの間を自由に行き来できるのです。

先にご説明したワウをコントロールするエクスプレッション・ペダルは、実はモーフィングをコントロールする準備もできています。

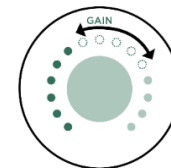
ペダルをヒール・ポジションにセットしてください。この状態で **GAIN** ノブを好みの位置に合わせます。まずは基本となるサウンドに設定して下さい。



ペダルをトゥ・ポジションに移動し、その状態のまま **GAIN** ノブを別の位置にセットします。



ペダルを動かすと、ゲインが基本サウンドの設定値とモーフ・サウンドの設定値の間を連続的に移動するでしょう。



同じ要領で別の連続可変パラメータを設定すると、それらも同時に動きます。その設定を残しておきたい場合は、リグのストアをお忘れなく。

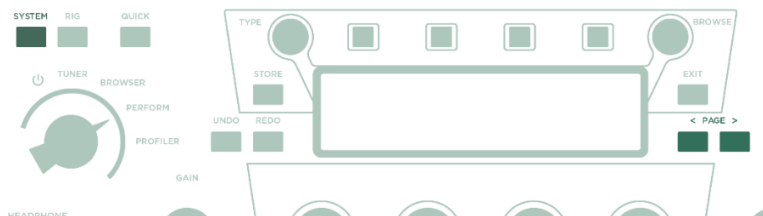
モーフィングについての詳細は、マスター・マニュアルやケンパー・ウェブサイトにあるチュートリアル・ビデオもご参照ください：

www.kemper-amps.com/video

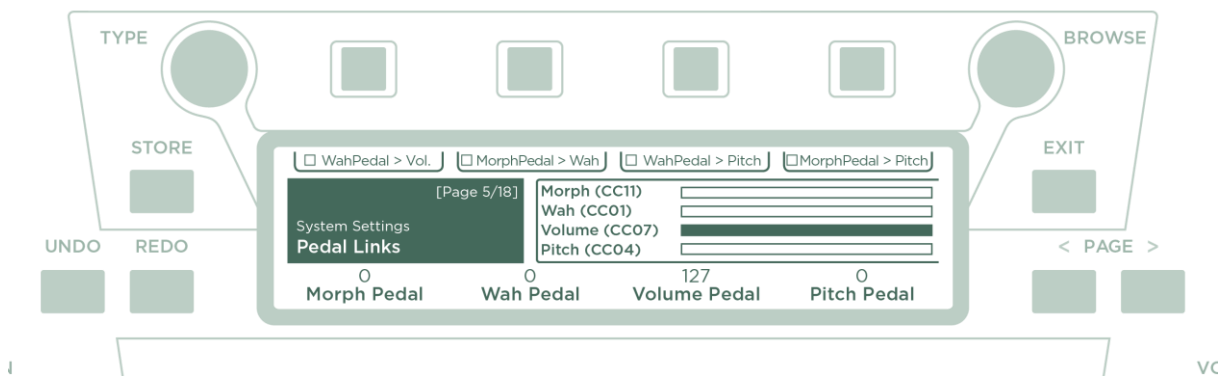
さらにペダルを使いこなす

ペダルに関するその他の設定についてご説明しましょう：

SYSTEM ボタンを押すと、プロフィール全体のセッティングに関するページが開きます。これらのページの設定はリグごとに変化するものではなく、グローバルな設定です。



「Pedal Links」というページを開きましょう。

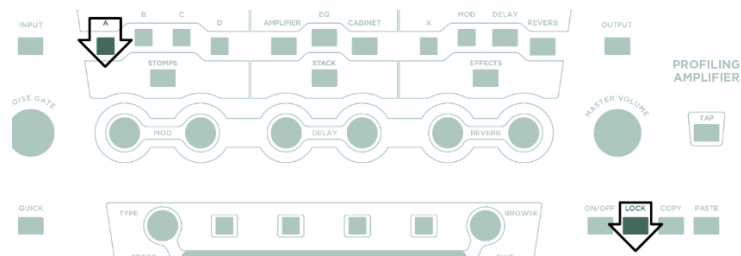


このページでは、接続したペダルの動作確認が行えます。接続されたペダル全ての現在値がバーで表示され、ペダル操作にリアルタイムで反応します。期待どおりに反応しない場合は、ペダルの機能アサインが正しく行われているかや、ケーブルやペダルそのものが正常に機能しているかなどをご確認ください。

ペダル・ジャックの機能設定や複数の機能のリンクについて詳しくは、マスターマニュアルやチュートリアル・ビデオをご参照ください：www.kemper-amps.com

ロック機能

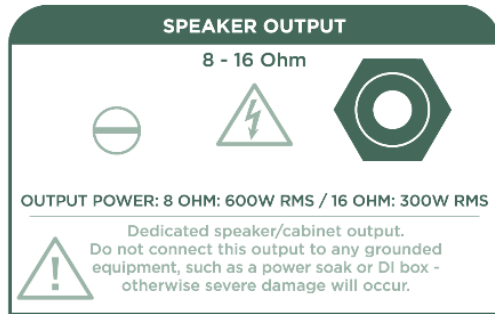
リグの一部を固定し、別のリグに切り替えてもその部分は変化しないようにできるのがロック機能です。例えばワウをアサインしたリグを選び、**LOCK** ボタンを押しながらそのモジュールのボタンを押して点灯させると、リグを切り替えてもそのモジュールの内容のみは変わらず、常にワウが使える状態になります。**LOCK** ボタンを押しながら、もう一度そのモジュール・ボタンを押して消灯するとロックが解除されます。



つまり **LOCK** ボタンを押しているときに点灯するのがロックされているモジュールということです。

内蔵パワーアンプでギターキャビネットをドライブする

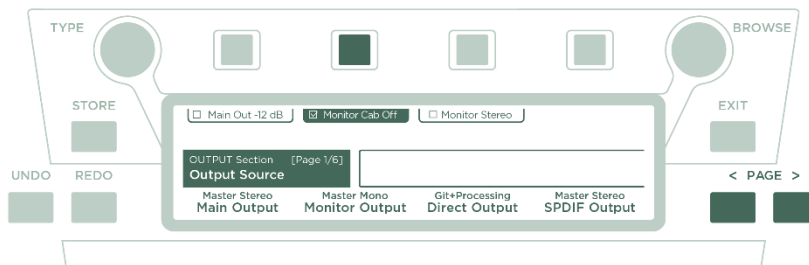
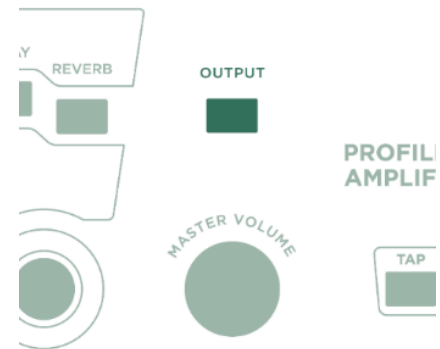
この項では、パワーヘッドまたはパワーラックをお持ちの方に、その内蔵パワーアンプでギターキャビネットをドライブする方法についてご説明します。一般的にギターキャビネットからのサウンドは、**PA** やモニタースピーカー、ヘッドフォンからのサウンドとは異なることをご理解ください。



本体リアパネルにある赤いリングの SPEAKER OUTPUT に、ギターキャビネットを接続して下さい。

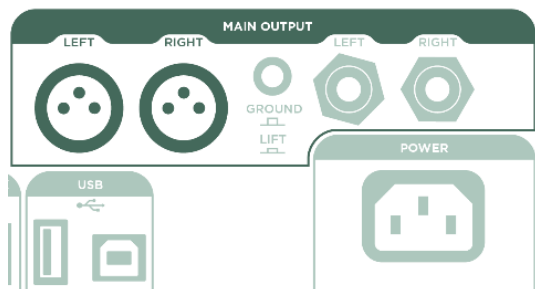
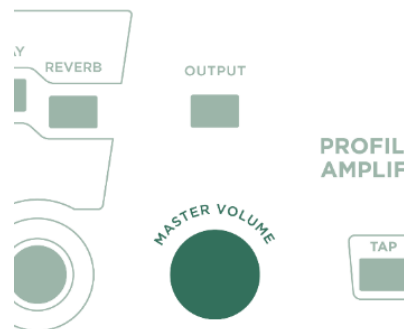
実際のギターキャビネットから音を出す場合、プロファイラーのシグナルフローにあるギターキャビネットのシミュレーションをキャンセルする必要があります。

その為にまず OUTPUT ボタンを押します。



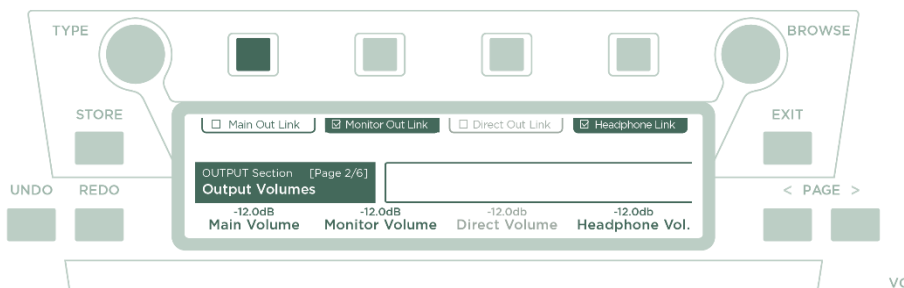
PAGE ボタン (< >) を使って「Output Sources」ページを開くと、ソフトボタン「Monitor Cab Off」が現れます。

フロントパネルの MASTER VOLUME ノブで音量を調節します。



ステージやスタジオでは、キャビネットの前にマイクをセットするのではなく、プロファイラーの MAIN OUTPUT をミキサーに接続してください。

このような状況では、「MAIN OUTPUT」と MASTER VOLUME ノブのリンクを外し、ミキサーへの出力ボリュームは固定したまま、「Monitor Volume」つまり



SPEAKER OUTPUT のボリュームのみを MASTER VOLUME ノブでコントロールすると良いでしょう。

ここでもお判りのように、**SPEAKER OUTPUT** からは **MONITOR OUTPUT** と同じ信号が内蔵パワーアンプで増幅されて出力されます。つまり **MONITOR OUTPUT** に関する設定、例えば「**Monitor Volume**」は、**SPEAKER OUTPUT** を通じてギターキャビネットから出る音に同じように反映されるということです。

もしギターキャビネットからの音に十分な音圧が感じられない場合は、**Output** セクションの最後のページにある「**Power Amp Boost**」の値を少しずつ上げてみてください。



内蔵パワーアンプについての詳細は、ケンパーのウェブサイトからダウンロードできるマスターマニュアルをご参照ください：www.kemper-amps.com/downloads

◆ **警告！**

パワーソークなどのアクティブ・デバイス (電源を必要とする機器) は、絶対に接続しないで下さい。そのような機器のグラウンドを持つ回路がパワーアンプをショートさせ、破損する危険性があります。

スピーカー・アウトに接続できるのはパッシブ・スピーカー・システムのみです。

4Ω を下回るインピーダンスの機器をスピーカー・アウトに接続すると、パワーアンプを破損する可能性があります。

ラック等にプロファイラーを収納したまま使用するときには、十分な換気が行われるようにして下さい。十分な換気が行われないまま使用を続けると、オーバーヒート回避のためにパワーアンプがシャット・ダウンすることがあります。

内蔵パワーアンプは、ダイナミックなクリーン・トーンでもクリップしないよう十分なヘッドルームを備えています、**600W** 出力を持つアンプは慎重に使用する必要があります。大きな音量で使用している際に、もしスピーカーに異常を感じたら、直ちにモニター・ボリュームおよびパワーアンプ・ブースターを下げてください。

リグ・マネージャーでプロファイラーを常に最新の状態にする

リグ・マネージャーはプロファイラー専用の無償ソフトウェアで、以下のような機能を持っています：

- 1万個を越えるリグに加え、サードパーティ製のリグ・パックもゲットできます。
- あなたのプロファイラーのデータ・バックアップを取っておくことができます。
- リグやパフォーマンスの整理や並べ替えに便利です。
- あなたのプロファイラーのOSを最新版にアップデートすることができます。
- 全てのマニュアルPDFを読むことができます。

◆ ユーザー・アカウントを登録して最新のソフトウェアを入手する

デジタル機器の魅力は、あなたが購入した機器を常にアップデートできることでしょう。真空管ギターアンプに例えると、真空管を常に最良のコンディションにしておけるということに匹敵するでしょう。

最新のOSやソフトウェアをダウンロードするため、ユーザー・アカウントを登録しましょう。ユーザー・アカウントがあれば、二通りの方法でプロファイラーをアップデートすることができます。コンピュータとインターネット接続環境がプロファイラーの周りにある場合は、リグ・マネージャーが、あなたのプロファイラーを常に最新状態にしてくれます。その環境がプロファイラーのすぐ近くでない場合は、USBメモリーを使ってアップデートすることもできます。

◆ ユーザー・アカウント登録

インターネット・ブラウザで www.kemper-amps.com/start を開き、「1: SIGN UP」に進みます。

「Not a member yet?」下の「Sign Up」をクリックすると開くウィンドウに必要な事項を入力してください。

あなたのプロファイラーのシリアル・ナンバーを忘れずに登録しましょう。シリアル・ナンバーはプロファイラーの底面に貼られたステッカーに記載されています。

入力情報を送信後、暫くすると確認メールが届きます。このメールには、アカウントを有効化するためのリンクが記載されています。確認メールが届かない場合はスパム・フィルターなどをご確認ください。サポートが必要な場合はケンパー・サポート・チームまでご連絡下さい：

www.kemper-amps.com/contact

あなたのアカウントが有効化されると、アップデート用のファイルやソフトウェア、リグなどがダウンロードできるようになり、フォーラムに参加することも可能になります：

www.kemper-amps.com/forum

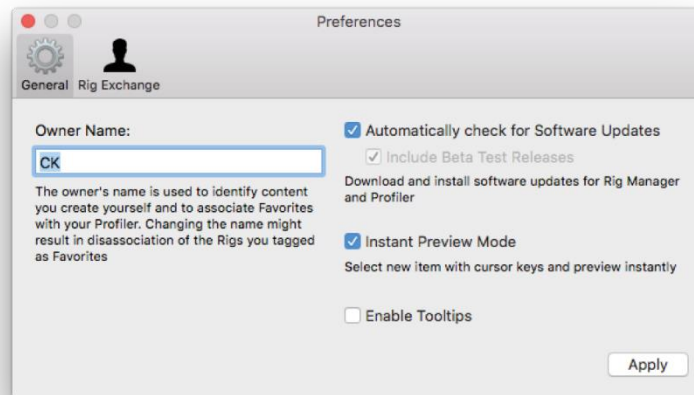
◆ リグ・マネージャーやアップデーターのダウンロード

インターネット・ブラウザで www.kemper-amps.com/start を開き、右上にある「Login」でケンパーのウェブサイトログインしてください。

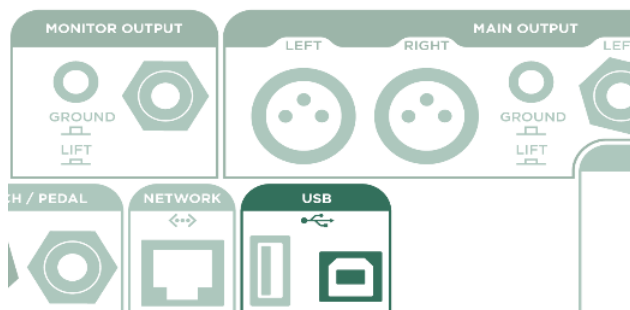
「2: UPDATE/ DOWNLOAD」からダウンロード・ページに進み、Category:で「Rig Manager」を選んでください。あなたのコンピュータのOSやバージョンに合ったファイルをダウンロードしましょう。

ダウンロードしたファイルを解凍し、インストーラを起動しインストラクションにそってインストールを実行してください。

リグ・マネージャーを起動し、スクリーンに表示されるインストラクションにそって、アカウント登録したユーザーネームとe-Mailアドレスを入力してください。「Test your Login Credentials」をクリックすると、リグ・マネージャーがあなたのアカウントに正しくアクセスできるかどうかを確認することができます。



◆ リグ・マネージャーによるアップデート



あなたのプロファイラーを常に最新の状態にするために、下図のように、あなたのプロファイラーとパソコンを **USB** ケーブルで接続してください。

プロファイラーに電源が入っていることを確認し、リグ・マネージャーを起動してください。あなたのプロファイラーよりも上位のオペレーション・ソフトがウェブにある場合は、アップデートするかどうかを訊ねるメッセージが表示されます。アップデートには多少時間がかかります。プロファイラーのオペレーション・ソフトがごく初期のバージョンの場合、リグ・マネージャーではアップデートできない場合があります。その場合は、次の項で説明する **USB** メモリーを使ったアップデートを行ってください。

◆ **USB** メモリーによるアップデート

この方法には、ダウンロードしたファイルをコピーする空の **USB** メモリーが必要です。

USB メモリーをプロファイラーに挿入してください。

USB メモリーがフォーマット済であれば、数秒後にソフトボタン「**USB Stick**」が現れます。同ボタンを押すと表示されるウィンドウから「**Format USB Stick**」を実行してください。

フォーマットされていない USB メモリーを挿入すると「Are you sure? USB stick needs to be formatted」というダイアログが表示されます。ダイアログ・ボックスの「Yes」を選び、続くインストラクションにそってフォーマットを実行してください。

インターネット・ブラウザで www.kemper-amps.com/start, を開き、「2: UPDATE/ DOWNLOAD」に進み、Category で「Operating System Updates」を選びます。アップデートのためのファイル・アーカイブをダウンロードし、その中に含まれる **kaos.bin** というファイルを、USB メモリー内の **OS Updates** フォルダにコピーしてください。同じくアーカイブに含まれる **ReadMe** (PDF) や **Addendum manual** (PDF) も必ずお読みください。

その USB メモリーをプロファイラーに挿入し、暫く待つと表示されるダイアログ・ボックスのインストラクションにそってアップデートを実行してください。

サポート・ページからは、OS の公開ベータ・バージョン (Public Beta) のダウンロードも可能ですが、ベータ・バージョンは、マスター・マニュアルに記載されている事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。

その他のマニュアルおよびチュートリアル・ビデオ

このドキュメントは、クイック・マニュアルと称し、基本的な操作や一般的なアプリケーションをご説明したものです。ここまでのご説明で、既にプロファイラーが直感的に操作していただけることがお判りだと思いますが、もちろんさらに詳しい情報を記載したドキュメントもご用意しています。

ギターアンプをプロファイリングする方法や、個々のパラメータの内容、さらに踏み込んだセットアップに必要なテクニカルな情報などは、マスター・マニュアル (PDF) に記載されています。マスター・マニュアルは、複数の言語による PDF が用意されており、ケンパーのウェブサイトからダウンロードすることができます。

www.kemper-amps.com/downloads

OS のメジャー・アップデートの際には、追補マニュアル (Addendum Manual) が発行されます。アップデートによって追加/変更された内容についてのみ知りたいときに便利です。

またケンパーのウェブサイトには、随時チュートリアル・ビデオも追加されています：

www.kemper-amps.com/video

サポートおよびユーザー・フォーラム

マニュアルやビデオには、あなたが必要な情報を全て網羅できるよう日々努力を重ねていますが、それらに含まれないような情報が必要な時は、ウェブサイトを通じてケンパーのサポート・チームにコンタクトしてください：

www.kemper-amps.com/contact

他のケンパーユーザーと情報交換をしてみたい場合は、言語別にオーガナイズされているユーザー・フォーラムにも是非ご参加ください：

www.kemper-amps.com/forum